

中山の園グループ

No.119



「ワークなかやま」では、中山の広大な敷地で小麦を育て、一昨年よりうどんを製品化し、昨年度は作付け面積を倍にして、新たにそうめんも製品化することができました。今年度の取り組みとしては、ワークなかやまで作った小麦とよもぎやカシスなどの野菜パウダーを使った饅頭やパウンドケーキを一戸町内にある北館菓子舗さんに試作していただいています。商品化まで間もなくですので、お楽しみに。

自分達が育てた作物が商品となる喜びを利用者、職員とも日々感じながら、明るく楽しく作業に取り組んでいます!

「ワークなかやま」遠山生活支援員

「ワークなかやま」
一押し商品!



ワークなかやまで育てた小麦を使用した
奥中山うどん・そうめん…220円

只今、試作中!



よもぎ饅頭 カシス饅頭



今年もたけのこの
塩漬け作業
頑張っています!



内
容

- ・[表紙]「ワークなかやま」一押し商品!
- ・中山の園グループ平成29年度経営目標
- ・中山の園グループ決算について
- ・特集1: 地域協力防災訓練
- ・特集2: 楽しく、安心、安全に~やまゆり~
- ・[中山の園写真館]~中山の園各施設・各事業所

第119号

2017年7月20日

発行:中山の園グループ

岩手県二戸郡一戸町中山字軽井沢139-1

TEL:0195-35-2121

中山の園グループ

平成29年度経営目標

中山の園所長

鈴木 豊



平成27年度は県派遣の事務局参事兼所長として、昨年度からは県を定年退職し、法人の常務理事兼所長として勤務し、本年度で中山の園所長3年目を迎えます。

27年度には、組織運営の基本方針として「顧客起点」「前向き姿勢」「柔軟性」「中庸」を掲げ、更に昨年度は中山の園グループ全体の経営目標として「もっと中山の園を知ってもらう」「利用者家族そして職員満足度を上げる」「職員一人一人が自律経営の意識を持つ」を掲げ、また、「その支援、家族の前でもできますか」を利用者支援のキャッチフレーズとして取組みを進めてきました。

これらについては継続して取組んでいきますが、平成29年度は以下の経営目標のもとに、更に質の高いサービス、安定経営に努めて参ります。

和顔愛語

もとは仏教用語で「わげんあいご」と読まれています。ここでは素直に「わがんあいご」と読みます。意味は読んで文字のとおりですが、利用者支援の基本的な心構えとして示したものであり、「優しくこやかな顔で、心愛のこもった言葉で語りかけましょう」というものです。

支援する職員は多忙な業務の中で、ついつい利用者さんに指示的で優しさを欠く言動になりがちですが、顧客起点の

具現化として示したものです。

利用を断らない

障がい者の生活支援は、希望する地域での「地域生活支援」が原則ですが、一方で地域や在宅での生活が困難で施設での支援が必要な方もいます。

社会福祉法人は困っている人を支援することが使命ですが、とりわけ我が岩手県社会福祉事業団は県の運営費補助を得ている等、社会福祉法人の中でもより公益性の高い法人です。そうしたことを踏まえ、県民からの期待に応える運営姿勢として、まずは「利用を断らない」を基本にしようとするものです。このため職員の更なる支援スキルの向上を図り、施設法人の安定経営に寄与して参ります。

チーム中山

中山の園グループは5つの障害者支援施設、3つの部、1室で構成されていますが、地域や市町村からは全体として「中山の園」として認知されています。

各施設・部単位での小回りの効く運営も大事ですが、前に掲げた「利用を断らない」ためにも、それぞれの施設・サービスごとの機能や特性に応じた利用者の受け入れ調整を行い、チーム力を発揮し、中山の園グループが一体・丸となってより良いサービスや適切なサービスに努めて行こうとするものです。

平成28年度 中山の園グループ決算

平成28年度決算では、昨年度に比べ費用が約1千百万円増加したものの、収益が約1億3千9百万円と大幅に増加したため、経常増減差額は約1億9千万円の黒字となりました。

収益増の要因は、こぶし利用者の増、支援区分変更等によるサービス提供に係る給付費が約7千5百万円、県補助金が約6千万円増加したことによるものです。

費用は、退職給付費用の増、当直専門員を直接雇用に変更したことにより、人件費が約1千6百万円の増となりましたが、節電・節水に努めたほか消耗品等の節減により、事業費・事務費等は約5百万円減となりました。

中山の園グループでは、平成28年度の経営目標の二つに、「職員一人ひとりが自律経営の意識を持つ」に取り組み、一応の成果を上げることができましたが、平成29年度においても、利用定員の充足、更なる経費の削減に努め、健全経営に向けた取り組みを進めます。

中山の園グループ副所長 細谷 優光

事業活動計算書

(一部抜粋 H28.4.1~H29.3.31) (単位:万円)

年度	H28	H27	増減 (H28-H27)
勘定科目			
就労支援事業収益	1,169	1,188	▲ 19
障害福祉サービス等事業収益	143,634	129,729	13,905
医療事業収益	665	598	67
経常経費寄付金収益	5	2	3
サービス活動収益計(1)	145,473	131,517	13,956
その他のサービス活動外収益	485	545	▲ 60
サービス活動外収益計(2)	485	545	▲ 60
収益計	A=(1)+(2)	132,062	13,896
うち 県補助金	10,933	4,999	5,934
人件費	86,735	85,134	1,601
事業費	18,558	18,676	▲ 118
事務費	18,033	18,314	▲ 281
就労支援事業費用	1,170	1,304	▲ 134
減価償却費	2,100	1,980	120
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 179	▲ 122	▲ 57
サービス活動費用計(3)	126,417	125,286	1,131
支払利息	67	64	3
その他のサービス活動外費用	219	244	▲ 25
サービス外活動費用計(3)	286	308	▲ 22
費用計 B=(1)+(2)	126,703	125,594	1,109
経常増減差額 C=A-B	19,255	6,468	12,787

地域との
防災訓練に
ついて

地域生活支援センター「ひこうせん」

地域の中での防災のあり方について



地域生活支援センター「ひこうせん」は平成18年に事業を開始し、平成24年に現在の建物へ移転しました。建物は木造で、近隣には個人病院や盛岡広域土木センターなどが立地しており、比較的人通りが多い場所にあります。

日々利用している利用者の方は、自力での避難や身体への安全確保が困難な方が多いことから、緊急時職員のみでの対応では手薄なところがあり早急に検討する必要があります。



避難訓練の様子

まず、人的問題の解決に向け行政区長に相談したところ、日中は高齢者だけのため充分な対応が難しいとお話があり、岩手町役場へ相談に出向きました。

窓口である岩手町総務課防災交通係は、町の方でも状況把握が必要とのことで、早々と建物



ひこうせん外観

を見ていただきました。岩手町職員からも職員のみでの対応では困難との判断から、岩手町のお力も頂きながら地域にある盛岡広域土木センター、個人病院、居宅事業所、岩手町森林組合に出向き協力を頂けることになりました。また、避難場所指定の沼宮内公民館からも合同での訓練を是非したいとお話もあり、昨年11月合同での避難訓練を実施することができました。

なお、当センターひこうせんは、急傾斜地崩壊危険個所の指定区域にもあることから今後も地域、行政との連携を図りながら問題点や改善点がどこにあるのかを十分に精査把握して、万がに備えたいと思います。

副所長 佐藤由美子

楽しく、安心、安全に

寮棟主任 森田 義規

やまゆりでは現在37人(男性17人、女性20人)の方が利用されています。約7割の方が障害程度区分6で、平均区分は5.7となっております。日常的に車椅子を使用している方も多く、全体的に介護度の高い施設と言えます。そのため、食事や入浴、排泄、移動等、日常生活における介助、支援が常時必要とされています。

入浴では、椅子に座った状態で入浴が可能な特殊浴槽やリフト装置を備え、安全性と快適さに配慮した支援を行っています。

楽しく快適に生活を営む上でも、健康管理は特に重要です。やまゆり利用者の平均年齢は約58歳と高く、また、疾病や障がいを抱えている方がほとんどであり、健康・安全管理には細心の配慮が必要です。「身体状況の確認」「普段と違わないか」等、随時確認し、職員間での情報共有を綿密に図りながら支援にあたっています。職員は交代

勤務のため、利用者個々の状態や対応状況等の確実な引き継ぎを徹底しています。

日中の活動では、利用者いかに楽しんでいただけるかを考えて活動計画を立て、運動やレクリエーション、ドライブ、買い物等の活動を提供しています。利用者からの希望も反映させるよう、自治会例会開催時には意見要望を募り、計画に盛り込むこともしています。外出や買い物は特に利用者の要望が高い傾向にあることから、今年度は回数を増やして行けるよう計画して行きたいと考えています。

やまゆりには介護福祉士等の専門資格を有する職員が多く、利用者さんへの質の高い支援を提供すべく日々励んでいます。利用者さんの満足そうな笑顔を見ることを目指しつつ、これからもさらに充実した生活を提供できるよう、職員丸となって進めて行きます。



皆さん、職員の説明を真剣に聞いてます。



プランターへの花植え



調理実習「美味しくできるかな」

中山の園写真館

ふらっと



『ペットボトルキャップのリサイクル作業』

りんどう



機能訓練中
頑張って引っ張っています！

かたくり



一戸混声合唱団「まべち」の皆さんが来て下さり、
美しい歌声を聴き、楽しい一時を過ごしました。

こぶし



中山の桜の季節に花見会を行いました

つつし



楽しい、楽しいお買い物！

ふたば



県南地域卓球バレーユニバーサル大会に
出場し、初めて一勝しました！

ボランティア募集

●利用者の皆さんと一緒に楽しい一時を過ごしませんか。
中山の園グループでは随時、一緒に過ごして下さるボランティアを募集しております。コーラスや神楽、日常生活での利用者とのふれあいなど、どのような内容でもかまいませんので、ぜひお問い合わせを！！

●中山の園まつり

9月16日(土)に第38回中山の園まつりを開催します。楽しい催しや美味しい出店が並びます。ぜひ、皆さん遊びにいらして下さい。また、お祭りを手伝ってくださるボランティアも募集しております。出店やアトラクションのお手伝いをお願いしたいと思います。お問い合わせ、お待ちしております。

編集後記

今年の夏は猛暑なのか、過ごしやすいかどちらでしょうか。これを書いている今現在、中山はまだ寒いです。発行される7月はどうな夏を過ごしているか、えうご期待!(かたくり 佐々木)